

(仮称)岡山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める  
条例(案)へのご意見募集(パブリックコメント)の概要について

1 募集期間

平成26年7月14日(月)～平成26年8月13日(水)

2 閲覧場所

(1) 岡山市ホームページ

(2) 市役所本庁(こども企画総務課〈9階〉、情報公開室〈2階〉)、各区役所、  
各支所、各地域センター、各福祉事務所

3 提出方法

電子メール・ファクシミリ・郵送・持参又は市ホームページの「入力フォー  
ム」

4 提出先

岡山市岡山っ子育成局こども企画総務課

5 ご意見募集結果

提出者数：15人

提出方法別提出者数

電子メール	1	人
ファクシミリ	2	人
郵送	0	人
持参	1	人
入力フォーム	11	人
計	15	人

## 6 ご意見の概要

### 岡山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準案

ご意見の概要	
1 全般的な事項	
1	すべての項目に独自基準を設けるべきではないか。
2	岡山市が定める設置運営基準の趣旨を明記すべきではないか。
3	放課後児童健全育成事業の対象児童、支援の目的を明記すべきではないか。
4	障害の有無によっても差別的取り扱いをしてはならないことを明記すべきではないか。
5	障害の有無によって入所できないということがないようにすべきではないか。
6	環境に配慮した設置基準、人員配置を明確に定めるべきではないか。
7	学童を必要とするすべての子どもが学童保育に入所できるようにすべき。
2 設備関係	
8	専用区画の面積は、小学児童の実態に踏まえた面積とすべきではないか。
9	静養室を設けるべきではないか。
10	場所についての注意事項として、「放課後健全育成事業を行う場所（以下「放課後児童健全育成事業所という。）の構造設備は、採光、換気等利用者の保健衛生及び利用者に対する危害防止に十分な考慮を払ってもうけられなければならない。」を記載すべきではないか。
11	様々な設備等について、子供の安全を守るために配慮をすべきではないか。
12	専用区間の面積は、子ども1人につき1.98平方メートル以上、設備等を置いた状態で子ども1人につき1.65平方メートル以上を確保し、できない場合は施設の増設をすべきではないか。
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設はバリアフリーにすべきではないか。</li> <li>・着替え場所などパーソナルスペースを設けるべきではないか。</li> <li>・静養室をはじめとする、児童の遊びと生活に必要な設備を具体的に挙げ、岡山市として設置のための方針を示すべきではないか。</li> </ul>
3 運営関係	
14	サービスの評価後はどうするのか。
15	サービスの評価後の経過・結果について、期限を定めて岡山市へ報告・確認をすべきではないか。
16	避難訓練は学校が行う回数と合わせたらどうか。
17	避難訓練は学校よりも多い回数が必要か。
18	施設及び職員の配置について、岡山市が全面的に責任を持つべきではないか。
19	児童クラブの主体である、児童及び保護者の意見を尊重すべきではないか。
20	開設時間については、準備等の時間を考慮し、原則午前10時半から午後6時半、学校休業日は午前8時から午後6時半とすべきではないか。
21	保育時間については、原則下校時から午後5時半まで、学校休業日は午前8時から午後5時半とすべきではないか。
22	日数については、学校授業日及び長期休暇（日曜祝日年末年始は除く）で250日以上開設すべきではないか。
23	地域の実情に合わせて、土曜・お盆の時期にも開設すべきではないか。
24	事業者は、市から指導等を受けた場合に必要な改善を行い、その結果について期限を定めて岡山市に報告しなければならない”とすべきではないか。

## 6 ご意見の概要

岡山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準案

ご意見の概要	
3 運営関係	
25	災害発生対応時マニュアルを作成すべきではないか。
26	職員は、災害発生時に児童を誘導するなどの訓練を受けるべきではないか。
27	不審者等の防犯対策についても定める事項が必要ではないか。
4 職員関係	
28	保育士の資格がなくても支援員としてはどうか。
29	障害児の対応について知識・経験のある支援員配置をすべきではないか。
30	支援員の資格者を増やすべきではないか。
31	支援の単位を構成する児童の数は、おおむね40人以下とすべきではないか。